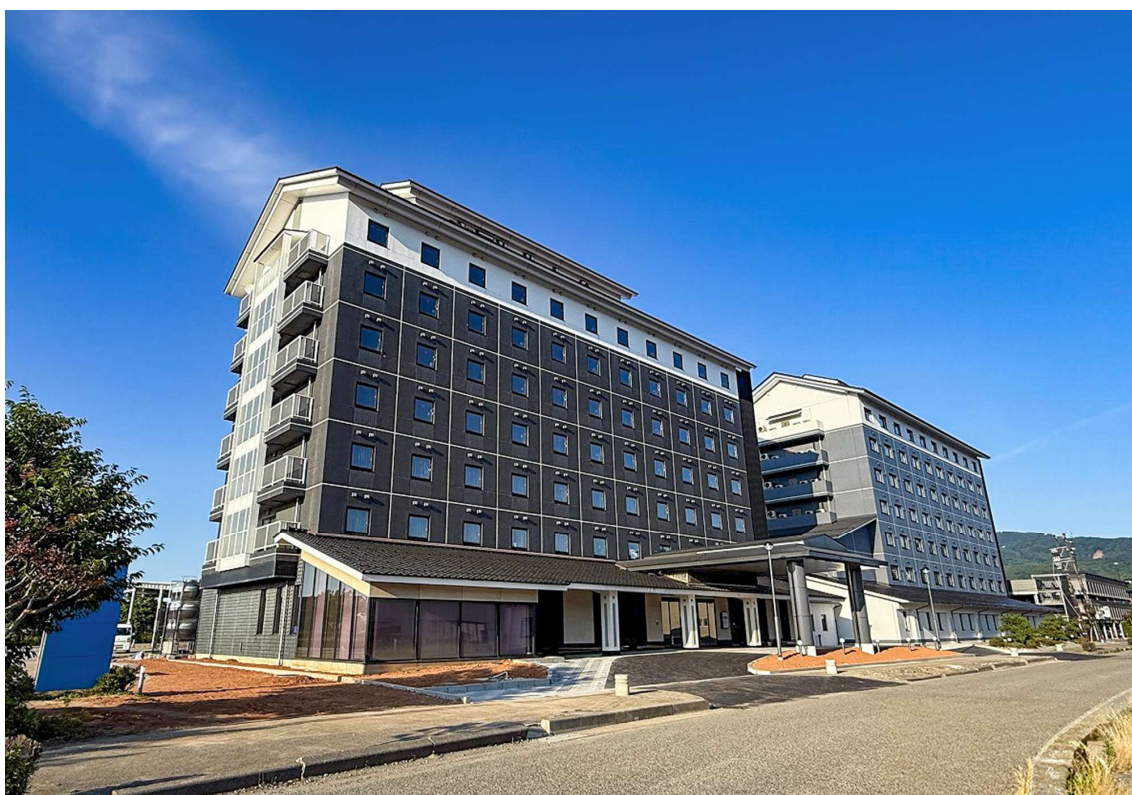


2026 年 8 月 7 日

2024 年能登半島地震で被災した「ホテルルートイン輪島（本館）」の復旧工事が完了

～被災した建物を「壊す」のではなく「元に戻す」― 復興のシンボルとして再建へ～

鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：今井 政人）は、2024 年の能登半島地震により被災し、建物全体が傾いてしまった「ホテルルートイン輪島（本館）」（石川県輪島市）において、ジャッキアップ工法を用いた建物沈下修正・杭補強工事を実施し、このたび災害復旧工事を無事に完了いたしましたことをお知らせいたします。



1. 復旧プロジェクト始動

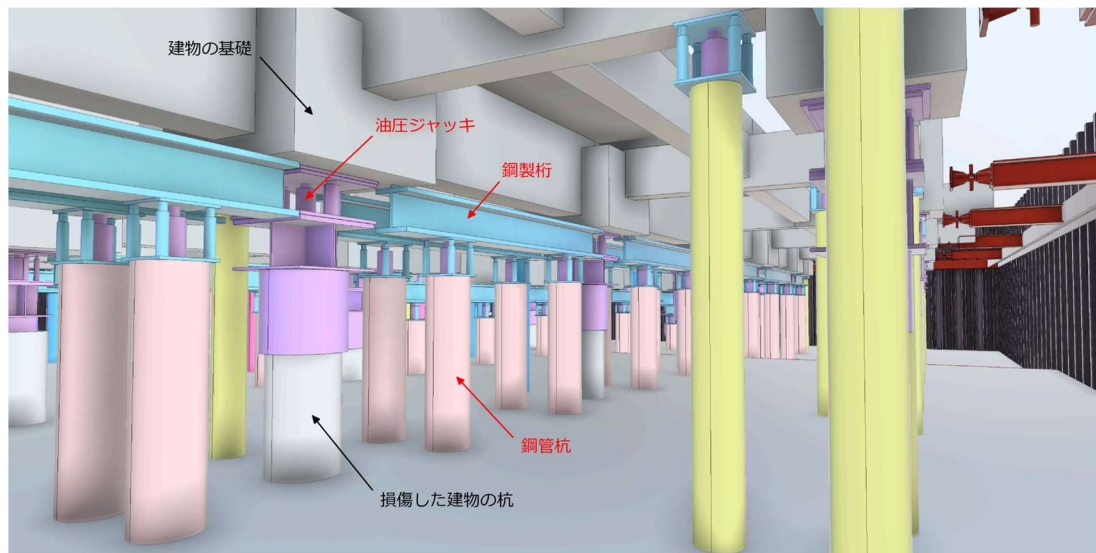
2024 年の能登半島地震発生直後、当社は 20 年来のパートナーシップを築いてきたルートイングループ様からの復旧要請を受け、直ちにプロジェクトチームを現地へ派遣し、被災状況調査を開始いたしました。

調査の結果、本館の傾きの原因は、地中における杭の損傷であることが判明。現状復旧するためには、最大沈下部分を約 30cm 持ち上げた上で、損傷した杭を新たな構造体として作り直す必要がありました。建物を解体する案も検討されましたが、「ホテルルートイン輪島を地震からの復興、そのシンボルにしたい」という願いから、当社がこれまでに培ってきた、災害復旧の実績とノウハウを結集し、「壊す」のではなく「元に戻す」ことをめざした復旧計画を迅速に立案・策定いたしました。

2. 主な施工技術と工程

・ジャッキアップ工法の計画

鋼管杭によって建物全体（約5,000トン）の重量を一時的に支え、油圧ジャッキを用いて建物の傾きを精密に修正する工法を計画。

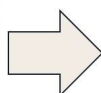


・ジャッキアップの実施

2025年1月の工事着手後、9月に杭の損傷部撤去を完了し、準備を整えジャッキアップを開始。精密な計測・微調整を繰り返しながら作業を進め、3日間で建物の傾きを元通りに修正。



外観の変化



外観上の傾きも修正された

3. 今後に向けて

今回の工事は、ルートイングループの皆さまをはじめ、輪島市ならびに地元協力会社の皆さまの多大なるご支援とご協力により実現したものです。

被災した建物を解体するのではなく再生させた本プロジェクトは、ルートイングループ様が担う「災害時の人命救助と復興支援の拠点」の機能再生に寄与するとともに、能登地域における今後の復興に向けた大きな一歩となりました。

当社はこれからも、長年培ってきた土木・建築技術と災害復旧の知見を活かし、社会インフラや建築物の再生を通じて、被災地の復旧・復興ならびに地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

■ホテルルートイン輪島

〒928-0008 石川県輪島市マリンタウン1番2

TEL 050-5576-7801 FAX 0768-22-7790

URL https://www.route-inn.co.jp/hotel_list/ishikawa/index_hotel_id_229/



復旧への歩みを記録した
『ホテルルートイン輪島』
～復興の歩み～
動画を公開しております

お問い合わせ先

〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町二丁目5番3号

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

鉄建建設株式会社 経営企画本部 広報部